

仕 様 書

1. 品 名 高速液体クロマトグラフ

(参考機種)

- ・(株)島津製作所 Prominence 1式
- ・日本ウォーターズ(株) Alliance 1式

※参考機種のほか、3の基本的仕様を満たしているもの

2. 数 量 1式

3. 基本的仕様

①送液ポンプ

- ・送液方式は、ダブルプランジャー方式であること。
- ・最大耐圧が40MPa以上で流速制御範囲は0.001~10.0 mL/min以上であること。

②脱気システム

- ・溶離液をオンラインで脱気できること。

③オートサンプラー

- ・注入方式が全量注入方式であること。
- ・1.5mlバイアルが96本以上セットできること。
- ・サンプルを4~40℃以上の範囲で温度調節ができること。

④カラムオーブン

- ・4~85℃以上の温度制御ができ空気循環式であること。

⑤示差屈折率検出器

- ・示差屈折率を利用し、多糖を検出できること。
- ・屈折率測定範囲が1~1.75 RIU以上でノズルレベルが 2.5×10^{-9} RIT以下であること。

⑥データ処理装置

- ・全ユニットの制御及びクロマトグラフのデータ処理ができること。
- ・OSはWin10 Professional 64bit以上でCPUはCore i5以上であること。
- ・ハードディスクは500GB以上でスーパーマルチドライブを有すること。
- ・モニターは、21.5インチ以上の液晶モニターであること。

4. 設置場所

国立研究開発法人国際農林水産業研究センター
第2実験棟1階

5. 納入期限

平成29年9月29日

6. その他

- (1) 納入日、納入方法等の詳細については、担当職員と打合わせのうえ実施すること。
- (2) 機器の搬入、据付完了後、試運転、性能試験を行うこと。
- (3) 納入・設置に際し、在来部分を汚損した場合は、在来に倣い補修すること。
- (4) 納品の際は、検査職員の検査を受けること。
- (5) 修繕の費用については、使用者の故意又は重過失によるものを除き、納入後1年間無償とすること。
- (6) その他、業務中に疑義が生じた場合は、担当職員と協議のうえ業務を完了させること。